

申立書記載例３－売買代金請求

(申立の趣旨)
1 相手方は申立人に対し、金 円及びこれに対する平成 年 月 日から支払 済みまで年5分の割合による金員を支払え との解決を求めます。

(申立の理由)
第1 当事者（法人の場合は、業務の内容、個人の場合は職業などを記載します。） ・ 申立人は、 ・ 相手方は、 第2 売買契約の締結（契約書、注文票、伝票等があれば証拠として添付して下さい。） ・ 契約日 ・ 目的物（何を売買したのかを記載して下さい。） ・ 売買代金、支払期日、支払方法 ・ 引渡日 第3 債務不履行（相手方が売買代金の支払いを怠っている事情をできるだけ詳しく記載します。） 相手方は、売買目的物を、平成 年 月 日に引き渡しています。 しかし、相手方は、申立人に対し、平成 年 月 日に支払うべき売掛代金 円のうち、金 円を支払ったのみでその余の代金を支払いません。 第4 申立に至る経緯(交渉内容など) 不払いに対してどのように催促したか、催促に対して相手方はどのように対応したか などを記載し、催告書、回答書、内容証明郵便、FAXなどを添付してください。 第5 よって、申立人は、売買代金の残金 円と遅延損害金の支払を求めます。

(立証方法)
1 売買契約書 2 注文書 3 納品書 4 伝票 5 領収書

6 内容証明郵便

7 F A X

8 . . .